

		足寄町役場庁舎、あしよろ子供センター及びとかちペレット協同組合 審査内容： (1)木質バイオマスボイラーの補機(ポンプ)の電力使用量は計画時にはポンプのカタログ消費電力を原単位とし、稼働時間を活動量として算出することにより推定されていたが、より正確な電力使用量を把握するため、電力計を設置し実測する方法に変更された。変更後のモニタリング方法の妥当性および設置された電力量計の精度補償を確認した。 (2)本プロジェクトが、プロジェクト申請書及び同別紙モニタリング計画書並びにモニタリング報告書記載の通り実施されているかの確認を現地視察、プロジェクト関係者へのインタビューにより実施。特に、モニタリング体制、計測機器及び計測データ等の確認状況、並びに QA/QC 体制について確認した。 (3)モニタリング報告書記載の算定結果を集計データによってチェックすると共に、その適格性(適用デフォルト値を含む)、計測器及び計測データ等の確認記録について検証を行った。特に、 <ベースライン排出活動> ボイラーで使用された木質ペレットの重量、外部機関に委託して測定した木質ペレットの発熱量。 <プロジェクト排出活動> 木質ペレットの消費量及び生産量、ペレット生産に使用された燃料(軽油、灯油)購入量、及び電力使用量、ボイラー補機(ポンプ)の電力使用量他。				
排出削減・ 吸収量	年度	2008	2009	2010	2011(7/1~)	2012
	t-CO2	--	--	--	<u>290</u>	
検証結果の要約		JACO CDM は、足寄町役場新庁舎及びあしよろ子どもセンターの建設にとまない、冬期間の暖房燃料を木質ペレットによる大型ボイラーとし、新庁舎に隣接する消防庁舎と合わせて、木質ペレットボイラーを導入し、その燃料として足寄町内産のこれまで放置されていた未利用林地残材をペレットの原材料として使用し、二酸化炭素削減を図り、地球温暖化対策の普及啓発を図るとともに、環境に優しい地域の資源で子供たちを育む森林源循環型社会の形成を目的とする本プロジェクトにおいてモニタリング期間(2011年7月1日~2013年3月31日)における温室効果ガス排出削減量を検証した。 検証の結果、本プロジェクトに関する「モニタリング報告書」(Ver.1.0)は、「モニタリング方法ガイドライン(排出削減プロジェクト用) Ver4.1」、及び方法論(E002「化石燃料から木質ペレットへのボイラー等の燃料代替」Ver.8.2)に準拠していることを確認した。また、同報告書に記載された温室効果ガス排出削減量290t-CO ₂ は、プロジェクト計画書、事前に提出された計画変更及びモニタリング計画書に基づいて算定されており、J-VER制度妥当性確認・検証ガイドラインVer2.2に規定する重要性の判断基準で				

	ある5%以内であることを確認した。 以上のことから、検証意見は無限定適正意見であることを表明する。
--	--

- ⁱ 審査担当者、レビュー担当者、外部専門家を含み、それぞれの役割を記載すること。
- ⁱⁱ 検証機関がプロジェクト代表事業者等からモニタリング報告書を受領した日を記載すること（この日を以て当該検証の開始日とみなす）。